

**「ついには、上から霊が私たちに注がれ、  
 荒野が果樹園となり、果樹園が森とみなされるようになる。  
 ……ああ、幸いなことよ。すべての水のほとりに種を蒔き、  
 牛とろぼとを放し飼いにするあなたがたは」**

(イザヤ 32: 15、20)

ハレルヤ！暑い夏、みなさん、いかがお過ごしですか。

お祈りいただきましたチア・サマーキャンプ、今年は過去最高の総勢365名（スタッフ込み）で、ウェイトリフトができるほどの賑わいの中で、神様の祝福のときを過ごさせていただきました。また、神戸では、ミヨシ石鹸・玉の肌石鹸神戸工場のフィールドトリップも開催され、祝福と喜びの内に終わりました。ご参加とお祈り、心から感謝申し上げます。

チア・につぼん代表 稲葉 寛夫



サマーキャンプ・LITの仲間たち

### 荒地が果樹園となる… 人に仕える24人の若者たち、育つ

たくさんの恵みに満ちたサマーキャンプでした。5年めの今年、初めての企画で新しい恵みは、24人のLIT（リーダーズ イン トレーニング）のみんなの奮闘が見れたことでした。「仕事をして、参加者を助ける」ことをメインにして主の弟子となる訓練を受けるといふ、その目的を明記して募集し、本番、二日前に集合したメンバーです。

いろいろとLIT用の楽しいプログラムも用意していましたが（10数メートルの滝つぼへのジャンプ&溪流スイミング、LITウォーターファイト&キャンプファイヤー等々）、それを知らせずに「働くため」に集まった面々です。真紅の特製チアTシャツを身にまとった24人は、明泉チームの訓練を受けながら、必死に働きました。

これまでの4年間、キャンプ参加者のために、毎回、明泉関連の約60名近い皆さんが、伝道や幼稚園の仕事等を休んで協力してくれました。今回は、その数を20名あまり、大幅に減らし、LITが即戦力として、対応。汗と疲労と祈りの中で、チャレンジしたわけです。

### 走って奉仕する一規範があるからできた！

「すごく良かった。何でも、小走りに走って奉仕するんだよ。教えてくれるスタッフたちが、自分で走って仕事をし、模範を示してくれるから、素直にできた！」帰宅したLITのメンバーの一人は、親御さんに、喜びいっぱい話してくれたと報告を受けました。「他人に仕える、主に仕える喜びを学んだ！」とのこと。24人のレッドTシャツ軍団が黙々と働く姿は、参加者や、明泉学園の皆さん、そして、チア・スタッフ、私自身にも、大きな励ましを与えてくれました。

### 新しい目標となった LITー 将来は、 LITに入って働きたい！（次世代の子どもたち）

「格好いい。ひたむきにほかの人に仕えようとする姿に感動。」「チャーチ&ホームスクーラーが育ってきて、このように実が見える時代がきてうれしい」「私の子どもも影響されて、手伝いを始めた」「将来は、LITに入れるようにがんばろうと、子どもたちと話した」、…と様々なコメントをいただきました。「真紅のチアTシャツがかっこいい」とのコメントもいただきましたが、これは非売品です:-)。



24人に深い友情、指導してくれた明泉スタッフの皆さんも含め、すばらしいチームワークが生まれたことも、大切な宝だったと思います。

もちろん、彼らは、成長過程で、不完全です。リードする私達も不十分なこともあります。とはいえ、とても従順に、ひたむきに、良い心をもって、チームワークよくがんばってくれた彼らの姿を見ながら、私は深く励まされました。チア8年め、サマーキャンプ5年めで、文字通り、「実」が育ち、見えるようになってきた、その喜びは、大きな力となりました。彼らの一人、一人の姿を通して、たくさん元気もらい、主に仕えていく力を与えられました。

### しつけることは、恥かしくない！

キャンプ全体でも、主は、そのすべてを助け、祝福してくれたと思います。全部、雨の予報でしたが、最終日の「うさぎの平」ハイキングを除いては、快晴。

園長室を開放してもらい、「しつけ」の部屋にしてもらいました。期間中、子どもさんに良くない行動があった場合、親御さんは、恥ずかしく思うことなく、聖書的な対応を堂々ととれるよう、また、子どもさんたちには「チアにきたら、特に「親に従いなさい」だよ！」と最初に話して、スタート。何人かの子どもたちが、冷静で聖書的な愛のムチをもらいました。「従順に受け、そして、終わった後は、罪許されたことを体感し、晴れ晴れとした表情で、気持ちよく、進んでいった」といった報告もいくつか受けました。

### 果樹園が森に (イザヤ 32:15)

ウォーターファイトは、過去最高の水量を確保して臨みました。でも、ビデオでのイメージトレーニングを終えた参加者が多く、また、バケツ持参OKとしたこともあって、

かなりヒートアップ。来年は、水不足を防ぐために、バケツではなく、洗面器ぐらいにしようかと思ほどの盛り上がりでした：)

「聖書にあって熱心に育てたはずの啓明小の子どもたちの中には、親と主に反抗して出て行ってしまった、残念なケースもあります。その場合の夫婦の関係（夫は妻を愛さず、妻は不従順）、子どもの悪いところを指摘する、まわりの人々の助言を聞かなかった、など、いくつか、省みるべき点がある」と、「教育」と「伝道」について励ましを与えてくれたフィリップ・ブローマン明泉学園理事長。ほか、多くのスピーカー、あるいは、参加者の皆さんが、セミナー、あるいは、フリーの交わりの時間を通して、素晴らしい励ましを与えてくれました。

リハビリ中のポール・ブローマンさんもかけつけ、「皆さんの祈りは答えられるよ」と、元気に呼びかけてくれたことも感動のシーンであり、深い喜びでした。

「上から霊が私たちに注がれ、荒野が果樹園となり、果樹園が森とみなされるようになる。」(イザヤ 32:15)を思わされました。370人も参加者の皆さん、奉仕者の皆さん、そして、祈り支えてくれた皆さんに心から感謝申し上げます。

## 7000人の人々が、 スタンディングオベーション

～ チア・カリフォルニア、日本のビデオレポート  
に沸く！

キャンプに先立つ7月中旬、チア・カリフォルニアからのリクエストで、日本の様子をビデオとともに、紹介することになりました。



チア・カリフォルニア コンベンション

サマーキャンプや、白馬のシーンは大うけで、みんなずいぶん笑ってました。松本さんのドキュメントでは、会場全体が涙、涙でした。みんな、国境を超えて、

その辛さを共有し、ホームスクーリングの困難に思いをめぐらせ、でも、信仰に立って進んでいかれる松本さんファミリー、そして、日本のチャーチ&ホームスクーラーたちへの共鳴と感嘆、そして主への賛美、ハレルヤでした。

日本のみんなを主にあって励ましたい！心一つだよ！と発信したい、そんな暖かい思いの7000人が一つになるときでした。「日本のホームスクーラーのみんな、愛しているよ！祈ってるよ！祝福あるように！ Japanese homeschoolers, I love you, I pray for you, God bless you!」と、会場全体が大声で、エールを送ってくれました。心からの笑顔。暖かい応援の思いがファインダー越しに伝わってきた瞬間でした。みんなの歌声はやまず、7000人の声は広がり、そして、全員立ち上がってスタンディングオベーションになっていました。

僕はワイドショットがとれませんでした。(広いサイズの映像。全体像が見えますが、一人ひとりの顔や表情は見えなくなります。)なぜなら、ファインダーに飛び込んでくる300人ぐらいのクローズショットのみんな笑顔と感動と応援と主への賛美、..、その表情があまりによく、ワイドに引けなかったのです。

終了後、多くの人が集まってくれました。「滝つぼへのジャンプやりたくなった！」「日本に伝道に行きたいが、アレンジは可能か？」「日本にこれだけ信仰を同じくして戦っている、素晴らしい仲間がいることを知ってすごく感動した！」「すごい、ずっと、祈るよ！」「泣けて、泣けてしょうがなかった！」「あのサマーキャンプとか、白馬とか、いつか、参加します」「中国やマレーシア、インドネシアにも、この働きを進めていこうと思っていた。とても励まされた。どんな困難と闘ってきたか、聞きたい(この方とはあとで1時間ぐらい話しました、..)」「日本にホームステイしたい」「これは、日本の歴史を変えてることですね。もし、日本の歴史を変えた人を書いたら、あなたたちだと思いました。」「キャンプであの滝から飛び込みたくなったし、松本さんでは涙が出てしょうがなかった。日本に行きたい！」「何年前かに、日本の報告してくれたこと、よく、覚えてます。こんなにも祝福されて良かった、..！」「日本のみんなが大好きになった、..、..、..、などなど。

そこは、ホームスクーリング、主に従う、伝道、..、といたってイエス様を中心とした天国のような世界、天国の前味を体験する一日でした。

### 心臓発作で倒れた父

皆さんに多く祈っていただき、2度の脳梗塞から、回復してきた父ですが、7月中旬、突然、心臓発作で倒れました。妹が出動5分前だったため、救急車を呼ぶことができ、ICUに入院できました。真折史やエミリと共に、お見舞いと伝道に行くことも許されました。父は福音をじっと聞いてくれました。今はペースメーカーも入り、一般病棟に移ることもできました。続けてお祈りいただければ幸いです。



おじいちゃんのお見舞い

### 父と子の6週間

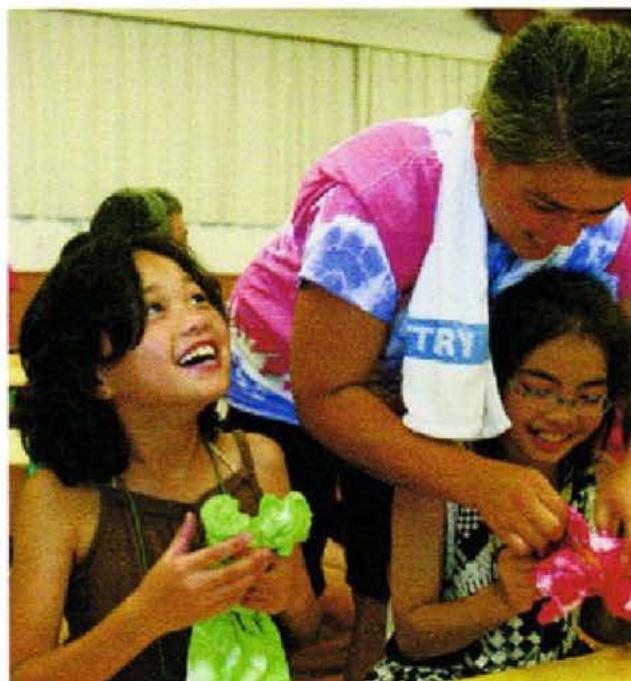
この夏は、真折史(15)とエミリ(10)を連れて、まわることができました。7月末に来日し、東京→弘前→仙台→弘前→猪苗代湖→仙台→東京→神戸→東京→仙台とまわり、今後、9月は、弘前、小樽(和紀子の両親)そして、東京、ロサンゼルスとまわる6週間です。子どもたちが来日するときは、マイレージを用いての無料の航空券で来日します。旅行シーズンの8月はさすがに無料のチケットが取れず、帰国は9月8日、6週間の旅となりました。お陰で、上記の父のお見舞いも、ゆっくりできました。また子どもたちは、サマーキャンプのLITを通して、松本大樹くん(11)と共に、LIT, Jr.として参加したエミリも含め、たくさんの日本の友人ができました。弘前でも、教会の皆さんとキャンプに出かけ、新しい友情を見つけました。神戸では、LITメンバーと再会もできて、大喜び。これから行く、札幌でも、再会を楽しみにしています。和紀子のほうは、その間、庭で取れたきゅうりのつけものや、トマトソース1年分を作ったり、そうじや琴の練習等しながら、神様にリチャージされた日々が与えられたようで、これもよかったです。私も、子どもたちと一緒に6週間で、深く感謝しました。

### 趣味は違えど、目的のために愛し、心を合わせる

8月は明泉・丸森の皆さんが、毎年、全国の伝道者たちのために行われている、猪苗代湖キャンプにも初参加させていただきました。東アジアでの伝道が急速に広がっている様子を聞き、とても励まされました。50年あまり、伝道に生きてこられ、現在も困難を乗り越えながら、東アジアで日々、励まれている方のごとばが心に残りました。「私たちは、性格や趣味もまったく違う。でも、ただ、キリストの福音を伝えるという1つの目的のために、心を合わせ、お互いを愛し、許し、一つになろうと努力しつつ、進んできた。性格も趣味も違うけど、主の目的のために、互いに愛し合うこと、そのことを今日も示され、学んでいます」とのことでした。

### うんこやおシッコ掃除はCool! (かっこいい) !

猪苗代湖へのキャンプの前後の日々、真祈史とエミリは、準備と後片付けを手伝う機会を得ました。エミリの班では、チルミニでおなじみの希恵ちゃんがキャンピングカーやトレーラーのトイレにたまったウンコやおシッコの掃除も教えてくれました。エミリは、よほど強烈だったらしく、興奮して喜び、その体験を何度も話してくれました。エミリは、後で、チア・スタッフに感想を聞かれ、「トイレ掃除が一番、かっこいいと思った! (Cleaning the bath rooms were so cool!)」と、うれしそうに話していました。良き訓練を、とても感謝しました。



チルミニの希恵ちゃん

### フィールド・トリップ ～ 汗かく実業の世界を親子で体験!

1年前、東京工場の見学の好評を受けて、神戸工場を募集スタート、定員64名が、即満席になったこの企画です。チア・スタッフにとっても1年越しで待ち、8月28日の当日を迎えました。1家族、キャンセルが生じ、当日朝に参加が決定されたウェイトリングファミリーもおられました。その家族のお嬢さんがスキップして工場に入っていた姿を見て、とてもうれしく思いました。

### 汗をかきながら、一生懸命働く姿

地下鉄の駅を出ると、すでに工場の皆さんが各所に案内に立ってくれて、明るく接してくださり「VIPみみたいな待遇だ!」とみな喜びました。猛暑の中の工場で、案内してくれた方は、この夏17キロやせたとのこと。お母さん方からは、「ここに毎日、きたいわ:?)」という感想も、...。汗をかきながらの見学、実は、ねらいがありました。日程相談のとき、三木晴雄社長いわく「暑いときもいいよ。汗をかきながら一生懸命、働いている姿を見ることは、将来、



ミヨシ石鹸 神戸工場にて

とても役に立つんじゃないか。」とのことで、私も同感、期待どおりの暑さの中での見学となりました。

見学後は、石鹸を用いた実験も行ってくださり、その日4歳の誕生日を迎えた野村帆愛(はんな)ちゃんに何が一番面白かった?と聞くと「実験!」と返事が返ってきました。「親子で工場見学したこと、一生、思い出に残るんじゃないかなー」と三木社長。私も同感。小学生のころ、先生が、工場見学を企画してくれ、取材し、発表したことは楽しく、その後、ジャーナリスト/取材者の道に進む、一つのきっかけにもなるくらい、心に残りました。神戸港の素敵なホテルでの昼食も参加者全員にプレゼントされ、日ごろ、神様にあって励んでくださっている皆さんへの神様からの贈り物のような一日だったのではと思いました。チャーチ&ホームスクーラーたちをチア設立当初から応援くださっている、三木晴雄社長はじめ、ミヨシ石鹸・玉の肌石鹸の皆様に、心からお礼と、祝福のお祈りをささげさせていただきたく思っています。

### 上から霊が注がれて(イザヤ 32:15)

サマーキャンプ・LITの子どもたち、チア・カリフォルニア、丸森発アジア各国への伝道者たち、関西のフィールドトリップ、...、上からの霊の力が注がれて、日本で、世界で、荒野が果樹園となっていく、そんなことをしばし、思われる夏でした。

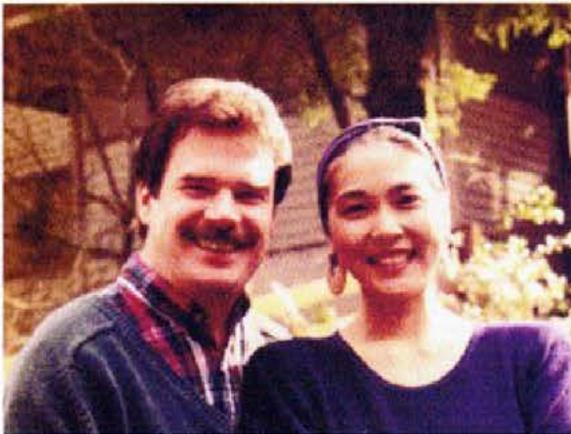
「ついには、上から霊が私たちに注がれ、荒野が果樹園となり、果樹園が森とみなされるようになる。公正は荒野に宿り、義は果樹園に住む。...ああ、幸いなことよ。すべての水のほとりに種を蒔き、牛とろばとを放し飼いにするあなたがたは」(イザヤ 32:15、20)

まさに「霊によりて」。私たちには力ありませんが、霊によりて、荒野が果樹園になっていく様子を何度も思わされました。ますます水のほとりに種をまいていきたいと願っています。チア事務局は、白馬セミナー等への準備に進んでいます。皆さん、ぜひ、ご参加と、お祈りをお願いします。

皆様の上にもますますの祝福を祈ります。

感謝しつつ

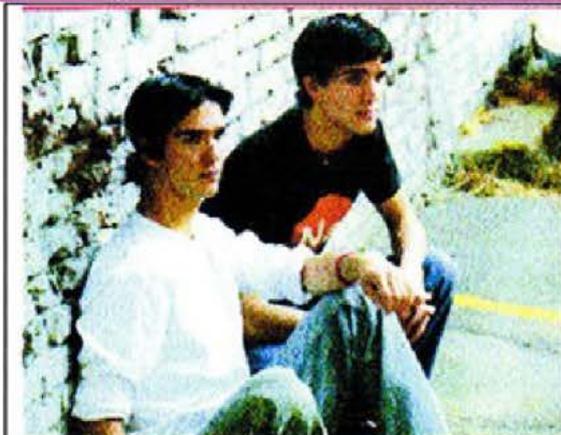
稲葉 寛夫



グレッグ&ソノ・ハリス  
ロングセラー「チャーチ&ホームスクーリング  
入門」著者

アレックス&ブレット・ハリス (下記参照)

講師 (予定)  
青木靖彦・由美子 (光のこども I.C.S)  
稲葉寛夫 (「チアにつぼん」)  
宇佐神実 (クリエイションリサーチ)  
フィリップ・フローマン (宮城明泉学園)  
ほか多数



アレックス&ブレット・ハリス

アクセス数 1200 万 件 の ホ ム ペ ー ジ

www.thebelution.comの主宰者 (ジャシュア・ハリス「聖書が教える恋愛講座」の双子の弟) による 青年の弟子訓練セミナーにより、  
全米各地の青年たちが、聖書に立って生きる力と可能性を発見している。

# チャーチ&ホームスクーリング 励ましとチャレンジ セミナー in 白馬

11/22 (木) ~ 24 (土)

家族のきずなの回復。

そして、教育の原点、聖書に立ちかえる体験。

涙と共に種まく者に、

神様からの豊かな祝福が待っています。

家族・チャーチスクール&独身、どなたでも。

今年は青年のミニトリーもあり。

独身の皆様もご参加ください。

チアのホームページから白馬の紹介ビデオがチェック出  
来ます! [www.cheajapan.com](http://www.cheajapan.com)



料 金 ●2泊6食

一般 ¥19800

小・中・高校生

¥14000

3~5歳 ¥10000 (保  
険料含む)

## サマーキャンプ

## 大人・子供アンケート



・子の教育は、親が本物になること、それに付きなあと改めて思われました。花火に海水浴にバーベキューに、すべてがスケールが大きくて、楽しく過ごすことができました。(東京 亀川備作・奈美)

・大変恵みをいただき、ありがとうございます。昨年より更に訓練され、成長されたLITの若者たちを見ることができ、励まされます。夜の交わり、分かち合い、私たちの質問に真摯に答えて下さる稲葉さんの明確なお答えに、今回もヒントと励ましを受け、また、力をいただきました。(神奈川 沖田ゆかり)

・念願のチア・サマーキャンプ、感激しました。コンベンションや白馬セミナーとは一味違い、レクリエーションや交わり中心で、今まで話せなかった方々と今回交わりをもたせていただくチャンスがあったのも良かったです。一番印象的なのは、LITの姿！ 弟子訓練の目に見える成果の一つではないかと思われ、自分の子供を早くLITに入れ、訓練して欲しいと思いました。スタッフをはじめ、LITのワーカーの多くの奉仕者によって支えられているキャンプで、目に見える点、見えない部分の全てに感謝します。何から何までいたれりつくせりで、こんなにゆっくり楽しめたキャンプは、初めてでした。本当にありがとうございました。(愛知 森山剛)



・すみからすみまで祝福に満ちたキャンプでした。スタッフの方々やLITの若者たちが清々しく働き、仕えられている姿に沢山教えられました。弟子の心の模範を多く見せて頂き感謝です。(北海道 須田牧)

・いつもと同様にすばらしかった。フィリップ先生のお話もとても良かった。ポールさんの回復された姿を目にできて嬉しか

った。「クリスチャンには、励まし合い、強め合う機会が必要」というフィリップ先生のお言葉を実感し、ドーナツタイムの交わり等で大変励まされ感謝です。バーベキューで串にさして焼くのは、みんなで楽しんで食べることができるので、次回もお願いしたいです。(北海道 堀江優規子)

・フィリップ先生の「親が模範となること」「伝道は誰にでもできる神からの使命」が心に響きました。3年ぶりに参加させて頂きましたが、良き交わりが与えられ、主に感謝です。(東京 金子由希江)

・プログラムが無理なく、充実してて、大人も子供もとても楽しめました。施設のきれいさ、スタッフの方々の心配りに感謝。(栃木 中村むつみ)

・今回も楽しみました。様々なところで励ましを受けました。主からのチャレンジを受けました。勇気をもって歩めるよう祈ってください。プログラムは最高です。これ以上、望めません。(東京 金子雅則)

・大変楽しかったです。休息と励まし、新しい挑戦を受けました。一度来てみたかったので、本当に素晴らしい奉仕を感謝します。LITのトレーニングありがとうございました。(京都 浦上豊秋)

・チャーチ・ホームスクールで全国でがんばっている仲間に関わり、励ましをいただきました。今回、初めて参加させていただきました。1つ1つのプログラムが洗練され、よく準備され、楽しくエンジョイさせてもらいました。(埼玉 山口光男)

・費用的に今年は「奇跡的に」満たされたので、最初で最後のつもりで参加いたしました。とても盛りだくさんで充実していますね。とても良いキャンプだったと思い、感謝しています。(埼玉 Aさん)

・「二つの大きな感謝」。一つは、去年はチャーチスクールの生徒を孫と連れてきた。何もかも超よかったと感動した生徒は、今年はLITボランティアとして参加した。責任をちゃんと果たしているだろうかと心配していたが、明泉について早速「どうだった？」と聞くと「楽しかったです」と、にこやかにきっぱりと答えてくれて、途端に心配していたのが、ふっとんだ。各行事の前後、喜々として活動している様子を目の当たりにして、チアにつぼんのスタッフやLITボランティアに、たくさんの恵みがあります様にと、イエスさまに祈らずにはおられなかった。チアの訓練ってすごいなあと感謝一杯です。

もう一つは、孫が夏休み前に右足の捻挫がきつく、家の中でも仙台に出発するまで松葉杖をついていた。主がいやしてくださったとしか思えない。海水浴もブイの所まで二人で泳いでいったりもできた。孫は、来て良かった。本当に良かった。楽しかったと、恵まれたことに感謝一杯のようです。(京都 草木恵美子)

・充実した内容、皆さんの奉仕に心打られました。また、ポール・ブローマン先生の姿に、主の奇跡の業と御恵みを感じて涙、涙でした。フィリップ先生のメッセージから「福音宣教はクリスチャンに与えられた特権、簡単!!」という心強い励ましと、天に宝を積むという希望を教えていただき、心潤い、カづけられました。(宮城 戸村



圭子)

・念願のサマーキャンプに初参加!! 期待以上の楽しさでした。随所に、スタッフやボランティアの人々の中にも細やかな配慮があって、こんなに楽なキャンプははじめてでした。フィリップ先生のメッセージや、ポール先生の御快復に、神さまからの祝福とチャレンジを受けました。(愛知 森山有佳子)

・こんな恵みを受ける価値のない者が、主のあふれる愛を(しかも、これは『添えて与えられる恵み』の分で、本体はもっと素晴らしい、主の使命・守り)受けて、恐れさえ感じ、花火大会で涙があふれた。(大阪 谷島しおり)

・4年連続、4回目の参加でしたが、今年もまた新しい風が吹いていましたネ!!。3日目の自由時間(交わりタイム)も良かったし、励まされました。(宮城 松岡淳裕)

・今回で3回めです。何度来ても楽しいキャンプです。子供たちは昨年も見学したのですが、今年もウィンスタジオを希望し、施設を楽しくながめていました。園内は遊び切れないほどのたくさんの遊具と広い敷地で、また来たい!と今から言っています。(千葉 井澤紋庸・満美子)

・親子で心ゆくまで楽しみました。明泉スタッフの方々、LITの皆さんの働きに心から感謝します。また、いつもチャーチ&ホームスクーリングの親子さんを支え、励まして下さるチアにっぽんのスタッフの方々、ありがとうございます。私も家族の中で、また社会の中で模範となれるよう祈って行なっていきたいです。また、福音も私にできることからキリストを恥とせず、伝えていきたいです。PS ウィンスタジオ見学、感動でした。祝福が目に見えようとも見えなくても、神さまのみこころを歩むことは主が喜ばれると実感しました。(栃木 若生千早)

・最高です!! 初めて参加しました。主にある喜びにいっぱい満たされました。LITの皆さんの陰ながらの努力に感激しました。うちの娘(9才)もいつかLITとして参加したいそうです。私もそうなってほしいです。我が家は夫が3年前に召天して母子家庭です。母子家庭ではなかなか難しいような、夏らしい体験を子供にたくさんさせてあげることができました。主にあって感謝です。(匿名)

・プログラムが充実しており、スタッフの方々の細やかな、速やかな労と配慮、LITのさわやかな奉仕の姿に感動&喜びに満たされたキャンプでした。ありがとうございます。感謝します。(神奈川 高倉正・幸子)

・1才の命をおんぶして、4才のまほろと手をつなぎ、思いきって参加し、夢のような3日間でした。来年もまた来たいです。(千葉 三村直美)

・初めて参加しましたが、素晴らしいキャンプでした。何から何までお世話いただいた感じです。明泉の施設もすばらしかったし、奉仕していただいた方の姿勢もすばらしかった。いつまでも継続されることを願っています。(京都 野村昌孝)

・とてもよかったです。メッセージ、交わり、どれも主が祝して下さいました。(大阪 田坪宏美)

・初参加。ベビーを連れてでしたが、とっても楽しませていただきました。遊覧船の後、アイスが食べたいナ~と思っていたら、バスでアイスが! 「いたれりつくせり」のウワサは本当でした! 小3、小4の息子たちは長いおきにウィンナーやマッシュマロを刺して焼くBBQをすごく楽しんで、もりもり食べて、何度も焼きに行っていました。花火も堪能しました。(匿名)

・期待以上の出会いと励まし、キリストにつながっている原点に立ち返りました。イエスさま、最高! 皆で作りに上げるキャンプというのはこれからも続けて下さい。バーベキューでマッシュマロが復活してうれしかった。(東京 桐藤眞也)

・初めての参加でしたが、私たち家族にとってかけがえない時となりました。思い出した時に再び感動が押し寄せてくるキャンプは久しぶりで、あれから毎日夫婦でキャンプの恵みを分かち合っています。

『教育は模範』というブローマン先生の言葉に驚きと感動を持っていましたが、今回のキャンプでまさにスタッフの方々、LITの方々の姿を通して『仕える』という模範を示されたように思います。『私たちがそうなりたい!』と思わされました。キャンプに初参加だった1歳の長男も、このキャンプを通して人と接するのが大好きになりましたし、一緒に参加した友人もホームスクーリングへの思いを高められたと、大きな祝福をいただいたサマーキャンプとなりました。(埼玉 高橋恵一郎・可奈絵)

・初めての参加でしたが、美しい景色や乗馬、何よりチアにっぽんや明泉のスタッフの皆様働きに感動しました。娘のLITでの働きが見れた事も嬉しかったです。(東京 渡邊奈津子)



・初参加でしたが、本当に有意義かつ恵みの3日間でした。活動全てがすばらしかった。特に、2日目の夕食のバーベキューはおいしかった。それとウォーターファイトもすごくおもしろかった。明泉スタッフのエンターテイメントに驚きました。(東京 渡邊孝至)



・初めてのLITの企画、本当に良かったです。先に送り出した娘の顔が生き生きと輝いていて嬉しかったです。熱い思いを持って真剣に仕える姿、同年代の主にある姉との出会いと交わり、貴重な体験ができたことと思います。感謝です。(栃木 宮田康子)



### <子供>

・たのしかったから、またきたいです。おおきくなったら、LITになりたいです。LITのおねえさん、かっこいい。(大阪 6歳 谷島しおん)

・キャンプファイヤーとバーベキューと花火がよかったです。わたしも、チアにっぽんの人たちみたいに、はたらきたいです。ありがとうございます。(愛知 7歳 森山佳音)

・いろいろな人がいてたのしかった。あさはやくおそうじをしている人たちがいました。みんなすばらしかった。わたしもそういうふうになりたいな。(宮城 8歳 戸村知世)

・すごく楽しかったです。LITのみんなが、いっしょうけんめいに働くのを見て感どうしました。(埼玉 11歳 大河原彩花)

・3回目だけど1回目の様に楽しかった。いつも楽しくて良い。(北海道 10歳 堀江まい)

・ウォーターファイトがすごいたのしかった。(神奈川 9歳 沖田果菜)

・思っていたよりもすごく楽しかった。(北海道 11歳 須田琴)

・さいしょは、人がたくさんいて、自分は楽しめないと思ってたけど、すごく楽しかったです。次は、もっといろんな人とはなしたり、あそんだりしたいです。(北海道 10歳 須田その)

・全部リラックスしてたのしめました。とくにウォーターファイトは、ウワサには聞いていたけど本当にたのしかったです!! 次は、夜に賛美集会や礼拝など…、いろんな賛美をしたい!! つかえることによるこびを感じているスタッフをまちかで見ることができて良かったです。ティーンエイジャーのスタッフもたのしんでやっているのが分かったし、とても親切でした。(北海道 13歳 須田詩)

・とっても楽しかった。(東京 9歳 金子愛喜)

・海で泳いで貝を取ったことと花火と馬に乗ったこと、バーベキューが楽しかった。また海に行つて貝を取ったり花火もしたい。(東京 6歳 金子恵知)

・自然がたくさんあって色々な動物と触れ合いました。また、ウォーターファイトやTシャツ染めはとても良かったので、もう一度やりたいです。(東京 12歳 渡邊祐大)

・LITをやりました。ふとんを運んだり、洗い物をしたり、すごく働きがありました。友達も沢山できてうれしかったです。あと、みんなで(LITの中で)賛美したり、一人体調が悪いと、起きてる全員でお祈りをしたり、本当に良かったです。お仕事、とても楽しかったです。(渡邊由佳)

・チアの夜行バスが楽しかった。(和歌山 6歳 井上風)

・花火したことが楽しかった。すいかわりしたことが、楽しかった。夜行バスに乗ったことがうれしかった。また夜行バス乗りたいな。(和歌山 8歳 井上こだま)



## 第2回チア・につぼん読書感想文大会 51名が受賞!

## チア・につぼん 読書感想文 受賞作品から

## 「誘惑に負けないために」を読んで

長野 清野耕地 (18歳)

2006年の十一月末、白馬セミナーがあった。800名を超える参加者が全国から長い時間をかけてやって来た。セミナーの主講師は、あのジョシュア・ハリス。僕の目的は断然ジョシュア・ハリスに会うことだった。

三冊の本は熟読していたけれど、実際に会うのは初めて。どんな顔？ どんな声？ 気さくなのか、それとも意外に無口？ 写真を見た限り、どうやら頭は薄そうだ。

僕が彼に対して持っていたイメージは、「恋愛カウンセラー」然とした人だった。そういう相談なら、何でも受けますよ！ そう、恋愛について悩んでいるんだね。どんな悩みだい？

ところが、実際会ってみて、三日間彼のメッセージを聞いて、僕の中での彼のイメージはまったく変わってしまった。

彼は「恋愛カウンセラー」然とした人ではなかった！ 彼の体からにじみ出ていたのは、神への愛、謙遜、誠実だった。単に、恋愛という人生の一部分において神を愛そうとしている人ではなく、人生のすべての部分において、神を愛そうとしている人だった。神の言葉をただ唱えるだけでなく、それを実行していくことを、喜んでいる人だった。

彼が著した三冊の本にも、その彼が持つ誠実がとても如実に表れている。「恋愛・結婚シリーズ」と呼ばれているこれらの本には、恋愛や情欲のこと以上に、イエス様の十字架の愛が書かれている。イエス様が僕達に与えてくれた完全な愛に基づいて生きていくこと。それを僕達の模範とし、僕達のすべてとしていくということが、書かれているのだ。

「恋愛・結婚を聖書的視点で見つめ直す」という言葉は、これらの本の内容をよく表しているけれども、完全にはないと感じる。確かにそのことについて多くのページを割き、強調しながらも、これらの本はもっと大きなことを僕に語りかけてくるからだ。すなわち、僕達の人生すべてを神の愛に基づいたものとしなさい、ということだ。ジョシュアが最も言いたいことはそこだと思う。これらの本の中で、『誘惑に負けないために』の中の言葉は、特に僕の心に響いた。

僕がこの本の題名を聞いて、真っ先に思い浮かべるのは、本の中で何度も繰り返されていた、イエス様の愛だ。それは完璧で、どんなにひどく、それをした恥ずかしさのあまり死にそうになるような罪でも、悔い改めるなら完全に赦してくれる。そして、それから離れる力をくれる。

本の中には、情欲と戦っていくうえで僕達の助けとなる実践的なことがたくさん書いてあるけど、僕はここに書いてある十字架の愛を、何よりも一番に思い出さずにはいられない。それほど、ジョシュア言葉は僕の心に強く残った。十字架の愛の強さを語るジョシュア言葉が、何度も何度も心の中で響くのだ。罪を犯したとき、僕は次の言葉を意識のうちに心の中で反復している。

「悔い改めて罪から離れ、イエスの名によって赦しを求めるなら、神はあなたを赦してくださる。まる。完結。ちがうことを言う奴には耳を貸すな。」

罪を悔い改めた後、「完全に赦された」という確信をまるで持てていなかった僕は、この言葉を読んでからは、その確信をも与えてくださるよう、イエス様に祈るようになった。そして今では、徐々にその確信を強く持つことができるようになっていく。

ジョシュアは僕にとって、さながら神の基準という旗を振りかざす人のようだ。前述のことも含めて、この本がなかったら、僕は様々な罪の問題の本質を見誤っていただろう。

本の中で、ジョシュアは神の基準を自分の人生の基準にしていくことを特に強調する。「自分に達成できると思えるレベルに、神の基準を引き下げな」と言う（僕の兄の基君と似ているところがある）。この言葉は、僕にとっては痛い言葉だ。「情欲はこれっぽっちもだめ」という神の基準を、「まあこれくらいならいいだろう」というレベルにいつも引き下げてしまうから。

でも、この痛い言葉が、今では僕のポリシー(?)になっている。

この本を読んでおいて、本当によかったと思う。神に従うときに起こってくる、情欲に限らずどんな問題にも、実践的な方法と、「神の言葉を基準とする」という最高の解決法をもって光明を与えてくれるからだ。それは僕にとって、考え得る限り最善の励ましなのだ。

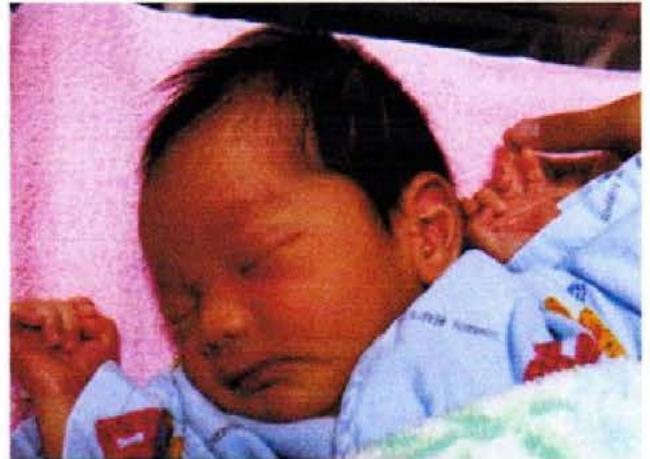
最後の一行に、この本を出版してくれたチアに万行でも表しきれない感謝をささげる。

## メール&ボイス

チアにっぽんのニュースレターやマガジンなど、いつもお送りくださりありがとうございます。その中には、たくさんのご指導やお励ましがありませんでした。そのおかげで、今春よりのチャースクール(小学生3名)も一学期を終えることができました。子供たちも、教師(二人)の私たちも、とっても楽しい一学期でした。この分なら又、二学期に向けて進めそうです。本当にありがとうございます。

山口 瀬戸見クリスチャンスクール 校長 前明子

P S孫の至音(しおん)の写真です。  
藤田勇夫&絵里子夫妻 07年6月24生まれ



ハレルヤ! 主の御名を賛美いたします。今回は、2年前に続いて2回目のキャンプ。息子をLITに送り出そうと祈り始め、なんとかやりくりをして休みをもらい、急ぎ参加することになりました。今回、また一つ息子が大きくなったことを感じました。

温かく迎えてくれたチアや明泉のスタッフからも「息子さんは、LITでよく働いています。特に男の子たちが仲がよく、よくスクラムを組んでいて、その中でマジックをしながらいい味を出していますね。」と声をかけられ、ホッとしました。

明泉のスタッフのよく働く姿を模範に、LITも若い力を発揮しながらよく気が付き、参加者の荷物をさりげなく持っあげたり、朝早起きして、庭掃除をしたり、自主的に働く姿が本当に麗しく見えました。一緒に参加した中学校の先生とは、「今の学生は、掃除をさせるにも組織を作って、チェックしてもなかなかやらないが、それとはまったく違い、生き生きとしていて、素晴らしい。ホームスクールで、育てている力を感じます。」と言っていました。そして、「このキャンプに中学生を連れてきて、LITの姿を見せたい」とも言っていました。初めての企画でしたが、大成功だったと思います。この中から、主に仕えて、御言葉をもって人々に伝えていく人たちが育っていくように願います。

今回は、次々とやってくるプログラムや時間の取り方、食事などがとても行き届いていて、驚きの連続でしたが、今回もそれを感じました。さらに、今回は、初めて会うお父さんたちに声を掛けまくりながら、我が家のHSに至った証やHSで大切にしていることなどを語らせていただき、また、いろいろな方の証を聞かせていただき、とても励まされました。

病に倒れながらも、神様の癒しを体験し、姿を見せてくれたポールさんの姿、その子どもたちの姿にも感激しました。いろいろなことを体験しながら、このキャンプの中で、またイエス様のために、自分のもてるものすべてを捧げていこうと決意をあたりにしました。

札幌市 笹山雅司

こんばんは。

仙台キャンプお疲れ様でした。

LITの特殊訓練はどきどきしながらの参加でしたが、とても充実して楽しかったです。全世界から神様に召された24人の仲間たちと1つとなって働くことができたのは恵みでした。僕たち男子チームは、お互い助け合って受け入れあう仲間たちでした。(もちろん、女の子たちも)それぞれ、帰った場所で神様に従っていけるように祈っていきたくと思います。僕も、北海道で神様のために働きたいと思っています。

真祈史君によろしく伝えてください。

札幌 笹山公平 14歳



## メール＆ボイス

チアのキャンプ、行けないのは本当に残念です。せめて、スタッフの皆様のためにも参加される方々のためにも実りの多き会となりますようお祈りして下さい。チアのキャンプ、あの水しぶきははじけるような開放感、初めて会う人々と家族のように親しくなれる温かさ、キャンプファイヤーを囲んで歌う賛美歌の星空にまで届く響き。そして、何よりも心が清く洗われる祈りの時。うちの子たちも言います。「あのキャンプは、どのキャンプとも違う。楽しいだけじゃないんだヨ」。

感謝しつつ 神奈川 井関亜紀

チアの皆様への働きには、家族一同心より感謝しております。ホームスクーリングというのを知って、家族・夫婦の関係のみならず私たち自身の信仰のありかた、毎日の生活、デポーション、仕事への姿勢、そういったすべてのものが主により変えられているのを日に日に感じています。喜びに満たされ、聖書の御言葉がぐんぐん力となっていくのがわかります。確かにこれが主が私たちに望んでおられることなのだと示されました。本当に嬉しく、チアの皆様へ、そして神様に心から感謝しています。これからも、チアの働き・全国のチャーチ&ホームスクーリングの働きが祝され、神様の栄光が現されることをお祈り致します。

埼玉 高橋恵一郎・可奈絵

主イエスさまの聖名を賛美します。チアのスタッフの皆様もお元気ですか？今年の夏は、猛暑でしたね。仙台サマーキャンプも祝福されたと聞きました。感謝です。さて、今月はニュースレターはお休みですか？いつも楽しみに読んでますが、届くのを楽しみにしています。チアの祝福を祈りつつ。

東京 篠原真佐美



初めて夏のキャンプに参加させていただきました。とにかくスタッフと、LITのみんなの献身的な働きに感謝です。うちもホームスクールを初めて2年ですが、いつかあのLITのような青年たちのように成長してくれることを願います。コンベンションやセミナーに参加するにつれ、すこしづついろいろなネットワークができていくことも感謝です。ありがとうございました。

井上 博 美砂 暁希(8) 太陽(6)

コンベンション2007、お疲れ様でした。そして、ありがとうございました。私たち家族にとっては、3年前の東京コンベンション参加がホームスクーリングに漕ぎだして初めての「チアにっぽん体験」でした。主人の感想は「どうすればより良いホームスクーリングになるかといったアイデアや方法を学べるだろうと思って行ったのに、親の信仰を問われることになるとは！」でした。そして、今年の東京コンベンション。私の両親が参加してくれました。アンケートの感想欄に父が「すべてのクリスチャンホームは、ホームスクーリングをするべきだと思った」母は「もっと早く(自分の子育て期)に知っていれば！」と書いているのを見て、私は本当に嬉しかったです。昨年5月、主人がそれまでの職を辞職することになり、行く宛てがないままに参加した大阪のコンベンション。私にとって忘れられない日です。そして、今、神さまは、ホームスクーリングを祝福し、経済も備えて、今朝も主人は仕事に行きました。このような恵みが、決して当たり前でないことを、私も子供たちもよく知っています。先日もある方が「チアでは、教派とか教団とかをまったく聞かない。実にいい。そして今回、いろんな素晴らしいキリスト者と交わられた。稲葉さんも、彼は全然偉そうにしないんだ。司会とかいろいろ、お世話役。それも本当にいい。」と仰っていました。チア・にっぽんの働きに対する感謝の思いと、ホームスクーリングに伴う祝福はいっぱいです

仙台 松岡みぎわ

DVD聖書、すごくいいです。車を用いる時間が多く、DVDを聞きながら、運転しています。おかげで、1ヶ月で、新約聖書・2回半、この半年で15回は、新約聖書を通読できました。妻にも聞かせたいと思って、一緒に乗っているときにはかけますが、「とてもいいんだけど、会話ができなくなる(?)」といわれました。教会のみんなにも、うれしくて、その素晴らしさを伝えていきます。

(Aさん)



いつも尊いお働きに感謝しております。今回はサマーキャンプにと思ったのですが、諸事情により来年を楽しみにすることになりました。教会の修養会に参加してきます。年会費、いつも恵まれていながら、お支払いした覚えがなく、申し訳ありませんでした。遅くなりましたし、足りなかったから申し訳ありません。また追々お献げできればと思っております。チアの発展を祈りつつ。

東京 大畑貞雄・真紀子

● **全国チャーチ&  
ホームスクーリング セミナー**  
講師：稲葉寛夫

9月2日（日）弘前キリスト集会 伝道集会 午後2時  
連絡先 マリオン・コールドウェル先生 0172-25-9080

9月20日（木）  
軽井沢 VIP（長野）午前の部&ランチ 夜の部  
塩沢賢一・静江さん 0267-45-4089

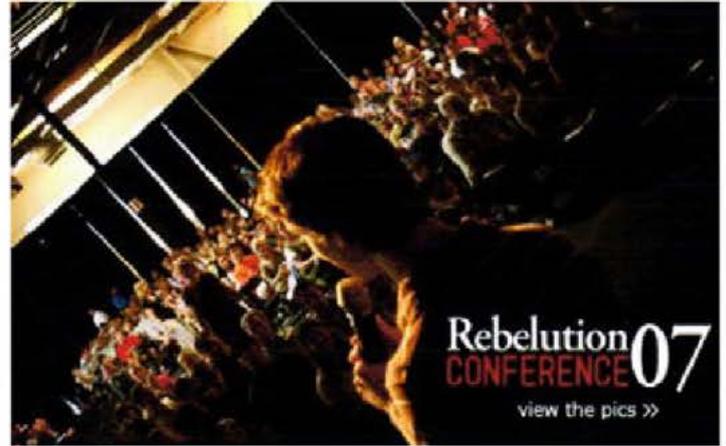
9月23日（日）本郷台キリスト教会（横浜）  
11時 礼拝メッセージ・1時30分（予定）セミナー

9月24日（月）10時-16時（予定）  
のあ・インターナショナルスクールセミナ  
教務主任 濱田誠先生 045-891-9982

11月22日（木）～24（土）白馬セミナー ホテルグリーンプラザ

12月1日（土）アレックス&プレットの  
若きいのちへのチャレンジセミナー

講師 アレックス&プレット・ハリス  
グレッグ・ハリス



アクセス数1200万件のホームページ

[www.therebelution.com](http://www.therebelution.com)の主宰者

アレックス&プレット・ハリス（20才 ジャシュア・ハリス「聖書が教える恋愛講座」の双子の弟）による 青年の弟子訓練セミナーにより、全米各地の青年たちが、聖書に立って生きる力と可能性を発見している

チア・にっぽん事務局

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-17-32-201  
TEL 03-5155-9212 FAX 03-5155-9213  
メール [office@cheajapan.com](mailto:office@cheajapan.com)